

皆さま、いかがお過ごしでしたでしょうか。子どもたちはどんなことを思い、どんな風にこの期間を捉えて過ごしてきたのでしょうか。植物や動物、昆虫たちは本当に人間たちの異変に全く気付かず、あるいは全くそんなことは気にも留めずに毎年通りの営みなののでしょうか。都会のカラスくらいはこの異変や違和感を感じとっていたのかも知れませんね。この期間で私が感じた自然界での異変？が結構あるのですが、長くなってしまっているのでお話しする機会に恵まれれば、いずれ。

長い休みは子どもたちにとっては決してマイナスのことばかりではなかったのかも知れませんが、さあ、始まりますよ！初めての園生活を送る子どもたちにとっては今までがむしろ日常であり、これからの園生活は逆に非日常体験ゾーンへの入り口で、ちっともうれしいことなんかないのかも知れません。長かった家庭生活、園生活にすぐには慣れないでしょうし、コロナウィルス以外でも保護者の方の不安や心配はもちろん、子どもたちはその何倍もの不安や心配を胸に秘めていることでしょう。園では、保育計画はもちろん大切ですが園生活で私たちが大事にしていること、子どもたちが安心、安定して過ごせる環境やクラス・集団生活っていいもんだな、と思えること、日々の発見や考える力、園生活で起きる事象を通して子どもたちが【何かを学びとれる生活】を送っていきたいと思っています。

当たり前の日常・・・これがどんな当たり前の生活になるのでしょうか。今までの園生活と園での一年、あるいはこれから、当たり前のように行っていたことが変化せざるを得ない状況や事柄は増えるのだと思います。私たちはそれらを、甘んじて受け入れていくことになっていくことでしょう。園として今後の行事等、すべての人にとってベストではないかもしれませんが多方面からアプローチした上でモアベターな方向性を選択して参りたいと考えています。子どもたちへの想いや保育に対する方向性が変わっていくことはありません。職員一同頑張りますので今年度もご理解とご協力のほど、よろしくお願い致します。